

「ハマボウ」に注目集まる

祝・W受賞

泉川の「ハマボウ」が福岡県の文化財(天然記念物)に指定 泉川はまぼうの会が福岡県観光功労者として表彰

泉川のハマボウが福岡県の天然記念物に指定

- 「ハマボウ」は、初夏（6月下旬～7月上旬）に薄黄色の花を咲かせるアオイ科の低木。
- 入江や河口付近に群生することが多く、満潮時の潮の到達位置を示しているとも言われている。塩分に強い塩生植物でもある。
- 秋には紅葉する落葉樹
- 花は、朝咲いて、夕方にはしぼんでしまう。
- 学名は「ハイビスカス・ハマボウ」と言い、シーボルトが命名。
- 泉川（雷山側下流）約1キロの両岸に730株のハマボウが群生している。（北部九州最大級）
- 平成23年に糸島市の花に指定。市コミュニティバスも「はまぼう号」と命名。



泉川はまぼうの会（会長 塩川 直光さん）

- 「泉川はまぼうの会」は、泉川の環境の変化を幼少期から見てきた旧志摩町職員の故・小林新さんの思いから生まれた。幼い頃遊んだ川の石垣が次第にコンクリートに変わり、このままでは「ハマボウ」もなくなってしまわないか・・・。
- 平成9年「泉川はまぼうの会」を結成。一帯を「泉川自然博物館 はまぼう夢のさと」と呼び、泉川の自然環境を守り、次の世代に引き継ぐことを目的に、定期的な清掃や7月の「はまぼう夢まつり」、ウォーキングマップの作成などの活動を展開。
- 現在、会員数は約50人。平成26年度には、糸島市地域活動振興奨励者として表彰。



市の花「ハマボウ」がますます多くの市民に親しまれ、愛されることを期待

4月からの糸島市

二丈・志摩に交流プラザがオープン

4月2日記念式典

◎9:30～志摩館 ◎13:30～二丈館

○二丈・志摩地域における市民の文化・交流の拠点に

- ◎旧二丈庁舎、旧志摩庁舎を、図書館、子育て支援センター、証明書発行機能を有した地域拠点へ刷新・拡充
- ◎二丈館には、深江公民館が移転新設。施設の相互利用で市民サービスが充実
- ◎志摩館には、新たにエレベーターも設置。図書館と子育てセンターの隣接による利便性も向上

【交流プラザ二丈館】

- ◎図書館二丈館
 - 2階から1階へ移転
 - 蔵書可能冊数：8万冊
 - 畳スペース新設
- ◎子育て支援センターにここにこ
 - 面積拡大・日当たり良好
- ◎深江公民館
 - 施設改修・刷新



【交流プラザ志摩館】

- ◎図書館志摩館
 - 移転に伴い面積が3倍に拡大
 - 蔵書可能冊数：5万冊から8万冊へ
 - 学習室（24席）を新設
- ◎子育て支援センターほかほか・きらきら
 - 「ふれあい」から移転
 - 面積拡大



○伊都文化会館多目的ルームも4月5日にオープン（旧図書館本館跡）

平成31年度：行政職440人体制へ向けて組織を改編

- ◎3課、3係を削減
 - 人事課を総務課に、都市整備課を都市計画課に、環境施設課を生活環境課に統合
 - 係も3つ統合

- 平成25年度と比べ、4部、9課、20係、職員（行政職）17人を削減
- ⇒10部、35課、86係体制に（消防含まず）
- ⇒職員459人に（H21年度551人から92人削減）
- ⇒H22年度から6年間で、4億1千万円の人件費削減



公共施設の有効活用、職員の削減により、合併効果を着実に発揮していきたい 2